

【開催目的】

個別事例の事例検討を通じて、市全体の地域課題を抽出する

【目的達成のための目標】

- ・相談支援専門員が、支援における情報収集の質を高めることができる
- ・相談支援専門員が、個別事例の課題を整理することができる
- ・相談支援専門員が、課題解決のための具体的な支援内容をイメージすることができる
- ・相談支援専門員が、個別課題から地域課題を抽出することができる
- ・市障害者支援課が、相談支援専門員から気軽に相談を受けることができる
- ・市障害者支援課が、相談支援専門員のケアマネジメントスキルを把握することができる

【参加機関】

総合相談支援センターぱれっと、地域生活支援センターウイング、  
相談支援センター拓未、相談支援センターかのがくえん、  
相談支援センターつくし園、夢ワークあけぼの相談支援事業所、  
きかん車、相談支援センターアイリス、相談支援センターしょうせい苑、  
障害者就業・生活支援センターワークス周南、市障害者支援課

【協議内容】

開催回数	月日	抽出された課題
第1回	4月16日	・ナカポツが、有する機能を十分に発揮する必要がある。
第2回	6月18日	・相談支援専門員が、対象者の親亡き後の生活もイメージしながらアセスメントする必要がある。 ・相談支援専門員が、本人の主観的ニーズを引き出す必要がある。
第3回	8月20日	・地域全体で、ヘルパー不足問題を補う必要がある。 ・相談支援専門員が、8050問題の解決を意識した支援をする必要がある。
第4回	10月15日	・相談支援専門員が、障害者の“働き方”について検討する必要がある。
第5回	12月17日	・地域全体で、元気な障害高齢者の適した居場所（フォーマル、インフォーマル問わず）を検討する必要がある。
第6回	1月21日	・相談支援専門員が、問題点を課題に変換するスキルを身に着ける必要がある。 ・相談支援専門員が、課題解決のための具体的な手法の検討において視野を広げる必要がある。
第7回	2月18日	・障害者支援課が、相談支援専門員のスキルアップのためのフォローを継続する必要がある。

## 【会議での主な内容】

- (1) 障害福祉分野における制度やサービス変更、各部会の動きなどの近況報告
- (2) 個別支援会議で困難事例等の支援の検討および地域課題の抽出
- (3) 相談支援事業所同士での悩み相談会、事務連絡など

## 【令和7年度の予定】

### 《継続内容》

- ・ 個別事例検討の開催  
令和6年度同様、個別の事例検討で個別課題の抽出を積み重ね、地域における共通した課題の抽出を図っていく。

### 《変更内容》

- ・ 個別事例検討の方法  
地域課題抽出の前提となる“相談支援専門員のスキルアップ”を図るために、事例検討の方法を変更し、多角的な視点を養い、相談支援専門員の役割を再認識できるように促していく。
- ・ 就労部会の委員として相談支援専門員を推薦  
相談支援会議で地域課題を抽出した後、各部会への橋渡しであったり、現場でケアマネジメントを担う相談支援専門員の立場での意見も各部会へ提言していけるように、相談支援専門員が参加していなかった就労部会においても参加する予定。